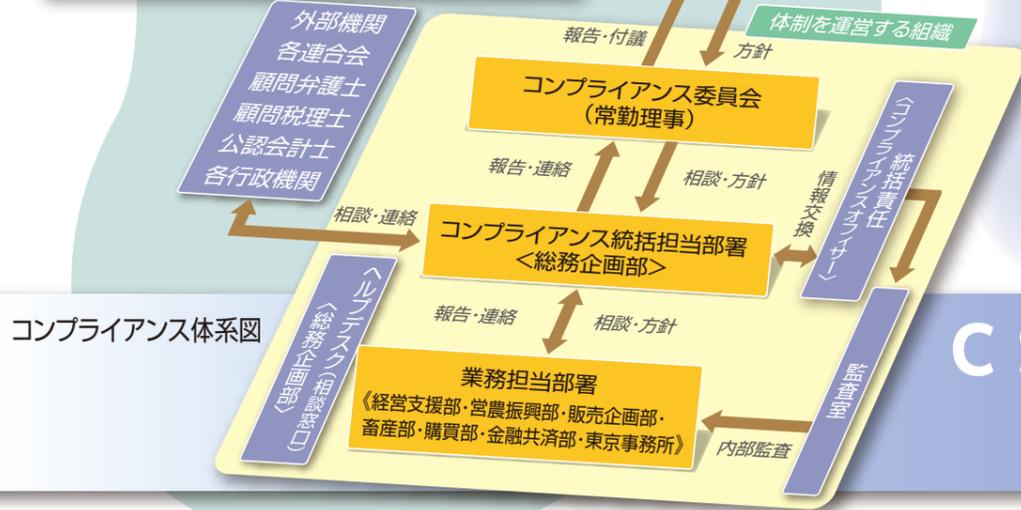




豊かな社会を目指す
JAとして

CSR経営の基盤

コンプライアンスの徹底はもちろんのこと、一人ひとりが社会的責任を全うし、透明性のある組織づくりを行っています。



“きたみらい”のコンプライアンス

法令やルールを厳格に守ることにとどまらず、社会の構成員である1企業として、すべてのステークホルダー(利害関係者)の期待に応え、その信頼を得て社会的責任を全うすることを真のコンプライアンスとして経営の最重要課題と位置づけています。

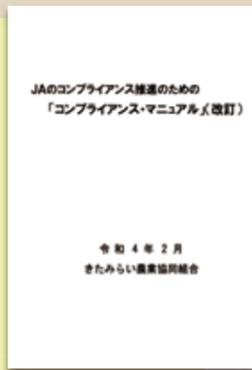
コンプライアンス研修

JAきたみらいでは、毎年、全役職員を対象としたコンプライアンス研修会を開催しています。コンプライアンス徹底に向けた意識を持つことももちろん、今の農業情勢やJAの目指すものなど、幅広い内容で研修を行っています。組合員、地域に信頼されるJAであり続けるために、そして、企業に求められる社会的責任を果たすべく、職員一人ひとりが必要な知識を持ち、その教育・研修を継続的に行うことをコンプライアンス推進の柱としています。

- 研修内容**
- ・不祥事への対応
 - ・メンタルヘルス
 - ・コンプライアンス体制
 - ・農協の大義
 - ・報徳の精神
 - ・個人情報の取り扱いについて
 - ・情報セキュリティ

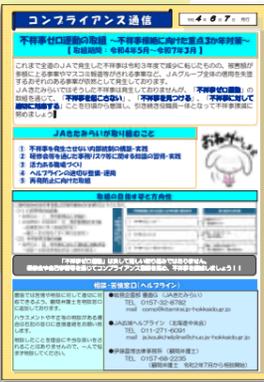
コンプライアンス推進体制

推進基盤であるコンプライアンス委員会を定期及び必要に応じ開催し、日常業務における法令等の遵守状況のチェックを行い、JA全体のコンプライアンスへの取り組み強化を進めています。また、職員一人ひとりにコンプライアンスに関するマニュアルと携帯カードを配布し、コンプライアンス推進に努めるとともに、全役職員がマニュアル遵守を誓約することで、コンプライアンスへの意識を喚起しています。



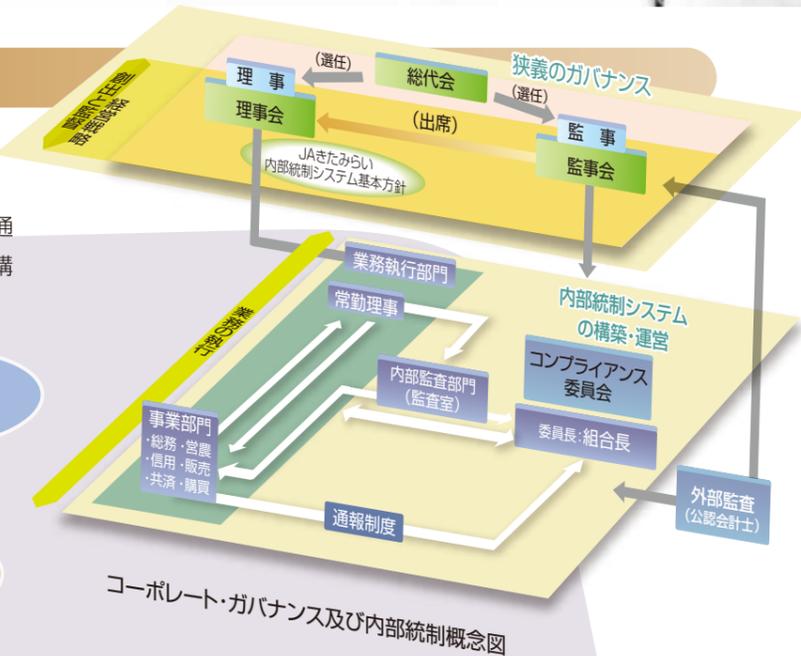
「コンプライアンス通信」の発行について

職場での啓蒙活動として「コンプライアンス通信」を発行しています。年に1~3回程度発行しており、「身だしなみについて」「道路状況に応じた安全運転」などの注意喚起や、「時間の活用」等、業務で役立つ内容も掲載しています。



コーポレート・ガバナンス体制

JAきたみらいでは、組織の社会的責任を果たし、地域農業の持続的発展と組織価値の向上を図るため、すべてのステークホルダー(利害関係者)の利益を尊重し、健全な業務活動を通じ、組織価値の向上を目標に、コーポレート・ガバナンス体制を構築し、豊かな社会の実現に貢献しています。



内部通報制度とJA広域ヘルプライン

不祥事が発生しないようにするため、何か問題があった時は、直ちに経営トップに伝わる体制が必要です。職場の健全性を維持し、オープンな職場環境となるよう、当JAでは、自由に相談できる環境として内部通報の窓口を設置し、その補完として、JA北海道中央会相談センター内に系統共通の通報窓口として、「JA広域ヘルプライン」を設置しています。

個人情報の保護

事業活動を行っていく上で、個人情報の保護は重要な課題であり、JAきたみらいでは、「個人情報保護方針」「個人情報取扱規程」を制定し、全役職員に周知徹底し、確実に実行するとともに、内部監査等で実施状況の点検を行っています。